

新刊『きり絵画集 なにわ大阪風物詩』（清風堂書店）

きり絵/加藤義明 きり絵・文/前田尋 文/白鳥正夫

2009年12月8日発行

朝日新聞大阪地区の読者に休刊日の前日に折り込まれています「休刊日のおしらせ」に掲載された、きり絵作品が1冊の本にまとめられました。大阪を代表する天神祭やだんじり祭、南大阪で現役で走っているチンチン電車、大阪城や国立文楽劇場、郊外の鉄橋や棚田、自然海岸などの風景が72枚のカラフルなきり絵で紹介され、それぞれ文章が添えています。

このすばらしいきり絵作品は、日本きりえ協会の指導的役割を担ってきました加藤義明さんと、前田尋さんが描いたものです。私が朝日新聞社時代の2002年春から約5年間、文章を担当させていただきました。

序文にも書いておりますが、近年、大阪の町並みは一段と都市化が進み、郊外にはアウトレットやショッピングセンターなど大型店が進出しました。美しく整備された反面、駅周辺の商店街はシャッターで閉ざされる光景が目立ってきました。歴史的な大阪の情景は過去のものになりつつあります。と同時に、庶民の祭りや生活と直結した多様で味わいに満ちた表情を失い、色褪せてしまったのも現実です。



本書は変わりゆく大阪の姿を「きり絵」で遺しておこうとの趣旨で編纂されたのです。「大阪の町に色合いを」「町は人々のためにある」といった価値観を見直すためにも、大いに意義のある一冊です。ご覧になっていただければ幸いです。

（白鳥 正夫）

A4判80ページ、定価税込み2500円

お問い合わせ先 清風堂書店 06 - 6313 - 0102